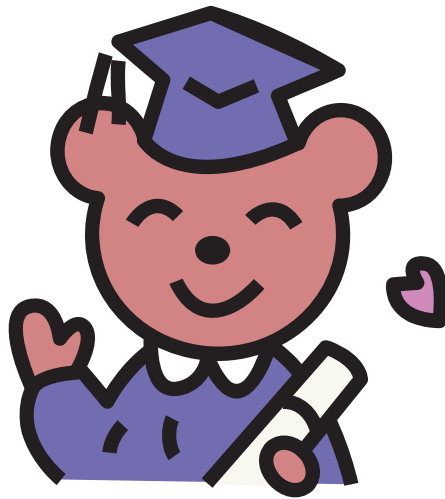


# 第1回

## 信州イノベーション大賞



2006年3月

信州大学イノベーション研究・支援センター

信州大学経営大学院

## 信州のイノベーション力の向上をめざして

「イノベーション」という言葉は、我が国では「技術革新」と訳されることが多いのですが、地域におけるイノベーションの源泉は、決して「技術力」だけに限定されるものではありません。「地域のイノベーション力」とは、革新的な技術のみならず、新たな発想で、既成の組織やマーケット、そして地域それ自体を根本から変えていく様々な取り組みを含んだ幅広い概念であると考えられます。

信州大学イノベーション研究・支援センターは、昨年 7 月の発足以来、信州のイノベーション力の向上をめざして様々な取り組みを行ってまいりました。この間、センターのスタッフが痛感したことは、信州には、様々な分野の方々の真摯な取り組みにより、次世代へと夢をつなぐような素晴らしいアイデアや技術、地域の連携などのモデルが数多く出現しつつあるということです。

本表彰制度は、このようなセンター・スタッフの思いを、関係者の皆様と共有し、信州の新しい時代の萌芽を育てていく環境を共に築いていく一助としたいというものです。こうした観点から、本年度は、センター・スタッフのこれまで約二ヶ月の自由な討議を通じて、「ものづくり」、「地域おこし」、「フロンティア・スピリッツ」、「ユニーク・アイディア」、そして「学生チャレンジ」の五つの分野で、信州に夢と可能性を与えてくれている方々を表彰させていただくことといたしました。

今回の表彰を機に、関係者の方々の自由なネットワークがさらに拡がり、信州のイノベーション力が高まることを大いに期待しております。

2006 年 3 月 21 日

信州大学イノベーション研究・支援センター長

樋口 一清

# 第1回 信州イノベーション大賞

## 【ものづくり賞】

### 株式会社サンメディカル技術研究所(諏訪市)

#### ■授賞理由

諏訪の精密技術を生かし、東京女子医科大学、早稲田大学理工学部及び米ピッツバーグ大学と共同で、体内植込み型補助人工心臓「EVAHEART」(エヴァハート)を開発。

国産の体内植込み型補助人工心臓では国内初となる臨床治験が2005年5月から開始され、全国紙のトップニュースを飾るなど大きな注目を集める。2006年2月には、植込み手術を受けた患者が2名退院し、在宅療養を始めることが報じられ製品化への期待が高まっている。信州の「ものづくり技術」の高さが証明された。



#### ■企業概要

代表者	代表取締役会長 山崎 壮一 代表取締役社長 山崎 俊一
住 所	諏訪市四賀 2990 番地
連絡先	TEL:0266-54-1900 FAX:0266-58-6443
URL	<a href="http://www.evaheart.co.jp/">http://www.evaheart.co.jp/</a>
創 業	平成3年4月8日 東京女子医科大学の山崎健二医師(山崎社長の弟)が考案した体内植込み型補助人工心臓の実用化を目的に創業。

# 第1回 信州イノベーション大賞

## 【地域おこし賞】

### テクノネット駒ヶ根(駒ヶ根市)

#### ■授賞理由

1996年に長野県が実施した診断報告書の提言を基に、危機意識を持った地元の有志が立ち上がり、異業種交流活動を開始。

同会の活動は、人材育成を通じた体質の強化をモットーに、数々のプロジェクトを企画・実行し、別名「産業界の市民大学」と呼ばれるにいたる。

行政に依存せず、地域と共生する異業種交流活動のモデルとして高く評価されている。



#### ■企業概要

代表者	代表幹事 山下 善廣 (株式会社 駒ヶ根電化)
住所	駒ヶ根市赤須町 20 番 1 号 駒ヶ根市活性化センター内 担当:小原昌美
連絡先	TEL: 0265-81-8120 FAX: 0265-81-8122
URL	<a href="http://www.city.komagane.nagano.jp/doc/kas-koma/index.html">http://www.city.komagane.nagano.jp/doc/kas-koma/index.html</a>
活動概要	生産効率向上事業<現場改善研究会> 企業ドメイン確立事業<企業ドメイン研究会> 固有技術力向上事業<固有技術研究会> 企業交流事業<企業交流会> など

# 第1回 信州イノベーション大賞

## 【フロンティア・スピリッツ賞】

### (有)エフ・アンド・エフ(塩尻市)

#### ■授賞理由

従業員 7 名のうち 4 名が定年退職者である自称シルバーベンチャー集団である。主な商品はプリンターであるが、アイデアが湧けば日用雑貨まで手がけている。

香炉ポップはそのひとつである。

オルゴールの動力を使って自然界には存在しない煙のリングを作り、香と煙と音楽を楽しむ趣向である。無眼耳鼻舌身意の般若心経の教えに逆らう‘俗人向け癒し goods’である。

今までにない新しい商品であり着想が面白く、またシルバーパワーにも期待する。



#### ■企業概要

代表者	代表取締役 藤原一司
住所	塩尻市片丘今泉 9828-26 今泉南テクノヒルズ産業団地
連絡先	TEL:0263-54-9370 FAX:0263-54-9372
URL	<a href="http://www.f-and-f.com/">http://www.f-and-f.com/</a>
創業	設立は平成8年7月。 藤原氏が EPSON 退職後、アイデア商品の開発を目的に創業。 ライセンス料で大金持ちになる夢を描き続けている。 特許は数十件を出願済み。アメリカ特許は約 10 件登録済み。

# 第1回 信州イノベーション大賞

## 【ユニーク・アイデア賞】

### 村山コーポレーション有限会社(長野市)

#### ■授賞理由

走行安定性を確保しつつ折り畳んだ状態で持ち運びが簡単。しかも荷物を積んだままでも持ち運びが可能な折り畳み自転車「MC-1」が大きな反響を呼んでいる。

また2005年8月に、日本ロボティクス株(東京)と共同開発した両輪駆動自転車は、氷上や圧雪でない積雪30センチの道でもスイスイ。ユニークなアイデアを駆使した自転車は全国に多くのファンを持つ。



#### ■企業概要

代表者	代表取締役社長 村山 克一
住所	長野市若里 3-10-40
連絡先	TEL:026-228-8795 FAX:026-228-8795
URL	<a href="http://www.mc1.jp/">http://www.mc1.jp/</a>
創業	平成13年5月 持つことに喜びを感じ、愛着のわく良い自転車が欲しいという消費者の志向に応えるものづくりを目指し、創業。

# 第1回 信州イノベーション大賞

## 【学生チャレンジ賞】

### 信州大学ロボット研究会(長野市)

#### ■授賞理由

NHK 大学ロボコン 2005 に応募し、書類審査およびビデオ審査をクリアして平成17年6月12日に開催された全国大会に初出場した。残念ながら決勝トーナメントには進めなかったが、初出場への努力が認められ、NHKからは「奨励賞」として賞状を受けた。大学生による「ものづくり」へのチャレンジが実った結果であり、今年もNHK 大学ロボコン 2006 書類審査に合格し、2年連続大会出場および国際大会出場へのチャレンジを続けている。



#### ■信州大学ロボット研究会概要

代表者	ロボット研究会会長 荒木邦彦 (機械システム工学科3年)
住所	長野市若里4-17-1 信州大学 工学部
連絡先	TEL/FAX:026-269-5150 (指導教員:千田有一)
URL	<a href="http://www.geocities.jp/radiusrobo/">http://www.geocities.jp/radiusrobo/</a>
活動概要	平成14年創設。NHK 大学ロボコン 2005 に初出場。現在、機械システム工学科(5名)、情報工学科(6名)、電気電子工学科(1名)の学生(合計12名)で活動中。

# 第1回信州イノベーション大賞 表彰要領

信州大学イノベーション研究・支援センター

## 1 趣 旨

イノベーションに関する調査研究や産学連携プロジェクトの事業化支援等を目的に発足した信州大学イノベーション研究・支援センターの事業の一環として、信州におけるイノベティブと認められる企業・団体・個人を表彰し広く周知することにより、イノベーションの創出を推進する。

## 2 表彰対象

(1) 表彰対象は、長野県に關係する企業・団体または個人・その他とする。企業・団体においては長野県内に本社ないし主たる事業所またはこれに類する施設が所在するものとし、個人においては長野県内に在住者もしくは在住経験者とするものとする。その他においては、表彰委員会が長野県に關係すると認めた者とする。

### (2) 選定基準

以下の例示のいずれかに該当し、概ね表彰日の三年前から表彰日までに発表又は事業化されたもの。

- ① 革新的な技術・経営手法で注目を集めたもの
- ② 独創性に富んだ新技術、新製品、新サービスを開発・事業化し、顕著な業績を上げたもの
- ③ 革新的な研究成果を発表し、業界の大きな話題となったもの
- ④ 大学の研究開発成果の事業化により、顕著な業績をあげたもの
- ⑤ 注目される方法・経緯により起業したもの
- ⑥ その他、イノベティブな案件として注目されたもの

## 3 選考方法

信州大学イノベーション研究・支援センター内に設けられた「信州イノベーション大賞」表彰審査委員会が選考をおこなう。選考は、当該委員会の協議による。

## 4 表 彰

### (1) 表彰対象数

表彰対象は、各年度1件以上数点以内とする。また、表彰審査委員会において特に提案のあるものについては特別賞を授与するものとする。

### (2) 表彰式

表彰は、当面各年度1回とし、受賞者について関係方面に広知するとともに、適宜な日に表彰式を行い、受賞者を顕彰する。



## 第1回 信州イノベーション大賞

---

2006年3月21日

信州大学

イノベーション研究・支援センター 経営大学院

〒380-8553 長野県長野市若里 4-17-1

電話 026-269-5690(代表)

FAX 026-269-5679

---